

R体αリポ酸

**従来品の難点を解決した
新しいαリポ酸**

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、☎03・5614・7147)は、通常のαリポ酸よりも効果の高い「αリポ酸R体」の取り扱いを昨年からは開始している。

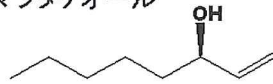
αリポ酸には天然型のR体と非天然型のS体の2種類がある。これに限らず多くの生体内物質は右手と左手のように形は似ているが、作用の異なる物質が存在する。これは鏡像異性体と呼ばれる

もの。R体のみでは安定性が低く、これまで流通していた国内のαリポ酸は全てR体とS体が同量入ったラセミ体と呼ばれる比較的安定した状態で流通している。

一方同社はR体をγC D(シクロロキストリン)で包接することで安定化に成功した。これまでの研究でラセミ体よりも天然型の方が有効、場合によっては非天然のものは体内で悪影響をもたらすケースもあることが分かってきている。例えば、ビタミンB1が欠損したラットに、R体ではなくS体αリポ酸を投与すると死亡率が極端に上昇するという実験結果が学術誌のネイチャーに論文掲載されている。シクロケムではこの内容について厳密な検証を行っている。

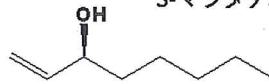
難の時代には大変問題となった。しかし現代でも特に高校生などに脚気患者が増えている。これは糖分を多く含んだ飲料などを多飲することによって原因がある。体内に摂取した砂糖を代謝するためにはB1をたくさん使うことで、欠損に至るのだ。また肌、

R-マツタケオール



マツタケの香り

S-マツタケオール



微臭

例えばマツタケの香りもS体ではカビ臭の原因に…

髪、爪の状態の改善について、ラセミ体を摂取した場合、R体を摂取した場合と比べて効果が得られず、場合によっては爪、髪などが荒れてしまうこともある報告がある。これはヒオチンとの競合阻害を起すためと考えられている。一方でR体を摂取した場合、競合阻害を起さず、肌、髪、爪の状態に有意な改善をもたらすことが明らかになっている。

これらの安全性面を考慮し、ラセミ体から同原料への変更をいくつもの会社が検討し、製品化する準備が整えられている。